



えんじゅ

春日市立春日小学校
校長室便り No.13
令和元年 12月 16日
文責：校長 福島

校長室へのかわいいお客様



校長室にいますと、子供とふれあう時間はあまりありません。毎日全教室を回りますが、授業中ですので子供と話す機会はありません。そこで、時々体育の授業をやらせてもらっています。子供とふれあう時間は楽しいものです。子供たちからエネルギーをもらいます。

そんな日々の中、校長室に時々かわいいお客様がやってきます。チャレンジカードの取組を達成した子供です。

チャレンジカードというのは、春日市が主催している運動習慣づくりの取組です。家庭や地域で運動した日を記録し、その記録が4枚以上終わったら賞状を渡すことになっています。社会体育の運動はもちろん、家庭でのストレッチや縄跳び等、簡単な運動もokです。

「チャレンジカードが終わったので来ました。入ってもいいですか。」とやってきます。たわいのない話をしながら賞状に名前を書き、「よくがんばりました」と言って渡します。私にとっては子供とふれあう貴重な時間となっています。子供たちも、「初めて校長室に入った！」と珍しそうにいろんなものを眺めています。

この記事を読んで、お子様に「チャレンジカードやっている？」と尋ねた方もいらっしゃると思います。「えー？ どこにやったかいな…。」という返事もあるかな。でも大丈夫、校長室に来ればチャレンジカードを渡します。明日からでも毎日取り組めば本年度中にぎりぎり4枚達成できます。「校長室にもらいに行っておいで。」と声をかけてください。

私の目標は、1年間で全員に賞状を渡すことです。今年度が無理でも来年度は達成したいです。全校児童一人一人を直接褒めるってすてきなことだし、やりたいことです。チャレンジする種をまき、出てきた芽に「ほめる」という水をやり続け大きく育てる、これが教育の原点です。